



フローランテ宮崎の活性化へ実地調査する宮崎公立大の学生たち

## フローランテ宮崎

## フェニックス動物園

宮崎市のフローランテ宮崎とフェニックス自然動物園の活性化を図ろうと、宮崎公立大の2年生約200人が両施設で実地調査を行った。学生たちは園内をくまなく回り、写真を撮るなどしながら若い来園者を増やす方策を考えた。

# 公立大生200人が実地調査

地域の課題を見つけ、その実践的解決策を模索する基幹演習科目の一環。両施設への若い世代の来園者が少ないことから、園側の要請を受けて3年連続で実施した。今回は23日に行われた。学生たちは数人ごとに分かれ、動物園で約2時間、フローランテは1時間ほど調査。このうちフローランテでは、住宅の周りの花づくりを提案する見本園で「きれいで、いい雰囲気」「ししおどしを効果的に使うと、もっと良くなるのではないか」などの感想、意見を口にする学生もいた。北海道出身で両施設を訪れたことがあるという西山凜乃さん(20)は「動物園では来園者向けのキリンやゾウの説明を聞くことができ、勉強になった」。フローランテ宮崎の活性化については「植え替えのために花がない場所があった。いつも花いっぱい状態なら

# 若い来園者どう増やす？

うれしい」と話した。同大学は、この日の調査を基に7月、八つのゼミの

代表が活性化策を発表する予定。

(鳥越直也)